令和６年度　札幌市交通事業　予算の概要

軌道整備事業会計

１　予算総括表 …… １頁

２　予算総括表［上下合算］（参考） …… ２頁

３　主要事業 …… ３頁

４　これまでの傾向 …… ４頁

高速電車事業会計

１　予算総括表 …… ５頁

２　主要事業 …… ６頁

３　これまでの傾向 …… ７頁

札 幌 市 交 通 局

1　予算総括表（税込）

路面電車

（軌道整備事業会計）

（単位：千円）

区分			収入 項目	６年度予算(A)	５年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	支出 項目	６年度予算(C)	５年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	収支差引 ６年度予算(A)-(C)=(E)	５年度予算(B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
当年度収入及び支出	収益的収支	経常収支	営業収益	879,000	827,000	52,000	営業費用	1,683,000	1,623,000	60,000	△ 804,000	△ 796,000	△ 8,000
			施設使用料収入	876,000	812,000	64,000	人件費	133,000	176,000	△ 43,000			
			その他	3,000	15,000	△ 12,000	経費	673,000	573,000	100,000			
							減価償却費	877,000	874,000	3,000			
		営業外収益		763,000	747,000	16,000	営業外費用	37,000	24,000	13,000	726,000	723,000	3,000
							予備費	5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000	0
		小計		1,642,000	1,574,000	68,000	小計	1,725,000	1,652,000	73,000	△ 83,000	△ 78,000	△ 5,000
		特別利益		6,000	0	6,000	特別損失	0	0	0	6,000	0	6,000
		計		① **1,648,000**	1,574,000	74,000	計	② **1,725,000**	1,652,000	73,000	③ **△ 77,000**	△ 78,000	1,000
	資本的収支		企業債	682,000	664,000	18,000	建設改良費	2,161,000	1,619,249	541,751	収支差引(税抜)＝当年度純損失		
			国庫補助金	0	1,000	△ 1,000	企業債償還金	237,000	215,000	22,000	④ **△ 138,000**	△ 135,000	**△ 3,000**
			負担金	1,469,000	929,000	540,000	他会計借入金償還金	76,000	0	76,000			
							予備費	10,000	10,000	0			
		計		⑤ **2,151,000**	1,594,000	557,000	計	⑥ **2,484,000**	1,844,249	639,751	⑦ **△ 333,000**	△ 250,249	△ 82,751
	当年度分損益勘定留保資金等			453,000	213,000	240,000					453,000	213,000	240,000
	合計			4,252,000	3,381,000	871,000	合計	4,209,000	3,496,249	712,751	43,000	△ 115,249	158,249
過年度分内部留保資金				△ 138,771	△ 23,522	△ 115,249					△ 138,771	△ 23,522	△ 115,249
総計				**4,113,229**	3,357,478	755,751	総計	**4,209,000**	3,496,249	712,751	⑧ **△ 95,771**	△ 138,771	43,000
（参考）一般会計からの長期借入金残高				539,000	615,000	△ 76,000					539,000	615,000	△ 76,000
再計											⑨ **443,229**	476,229	△ 33,000

※　５年度予算は現計予算（４決算置換・繰越・補正を含む）である。
※　６年度予算の一般会計からの長期借入金残高は、５年度末時点の残高615,000千円から６年度に償還する76,000千円を差し引いた539,000千円である。
※　６年度予算の当年度分損益勘定留保資金等は減価償却費877,000千円と固定資産除却費122,000千円、長期前受金戻入△647,000千円、
長期借入金流動負債計上額等107,000千円、引当金計上及び取崩額等の資金調整額△6,000千円を加えたものである。

2 予算総括表［上下合算］（参考）

㊦ 軌道整備事業

※交通局予算

（単位：千円）

項目			6年度 予算
経常収支	営業 収入	施設使用料収入	876,000
		その他	3,000
		計	879,000
	営業 支出	人件費	133,000
		経費	673,000
		維持管理費	479,605
		技術継承等負担金	22,295
		その他	171,100
		減価償却費	877,000
		計	1,683,000
	営業外 収入		763,000
	営業外 支出		37,000
	予備費		5,000
	差引		△ 83,000
特別利益			6,000
特別損失			0
収益的収支差引			△ 77,000
資本的収支	収入	企業債	682,000
		国庫補助金	0
		負担金	1,469,000
		計	2,151,000
	支出	建設改良費	2,161,000
		企業債償還金	237,000
		他会計借入金償還金	76,000
		予備費	10,000
		計	2,484,000
資本的収支差引			△ 333,000
当年度分損益勘定留保資金等			453,000
過年度分内部留保資金			△ 138,771
合計			△ 95,771
（参考）一般会計からの長期借入金残高			539,000
総計			443,229

㊤ 軌道運送事業

※（一財）札幌市交通事業振興公社予算

（単位：千円）

項目			6年度 予算
経常収支	営業 収入	乗車料収入	1,627,000
		広告料収入	71,635
		計	1,698,635
	営業 支出	人件費	571,782
		経費	719,597
		施設使用料	876,000
		計	2,167,379
	営業外 収入	維持管理費	479,605
		技術継承等負担金	22,295
		その他	16,306
		計	518,206
	営業外 支出		52,270
	予備費		0
	差引		△ 2,808
管理費	収益配賦分		0
	費用配賦分		34,387
	差引		△ 34,387
諸税			0
収益的収支差引			△ 37,195
過年度分内部留保資金			△ 102,464
合計			△ 139,659

※乗車料収入については、令和6年12月1日から運賃改定を実施することを前提とした収入予算である。
　なお、運賃改定については、北海道運輸局に認可申請を行い、認可を受け決定するものである。

㊤ 軌道運送事業 ＋ ㊦ 軌道整備事業

（単位：千円）

項目			5年度 現計予算(A)	6年度 当初予算(B)	差引増減 (B)-(A)
経常収支	営業 収入	乗車料収入	1,547,419	1,627,000	79,581
		広告料収入	55,178	71,635	16,457
		その他	15,000	3,000	△ 12,000
		計	1,617,597	1,701,635	84,038
	営業 支出	人件費	721,714	704,782	△ 16,932
		経費	759,586	890,697	131,111
		減価償却費	874,000	877,000	3,000
		計	2,355,300	2,472,479	117,179
	営業外 収入		767,138	779,306	12,168
	営業外 支出		76,437	89,270	12,833
	予備費		5,000	5,000	0
特別利益			0	6,000	6,000
特別損失			0	0	0
管理費	収益配賦分		0	0	0
	費用配賦分		34,684	34,387	△ 297
諸税			0	0	0
収益的収入			2,384,735	① 2,486,941	102,206
収益的支出			2,471,421	② 2,601,136	129,715
収益的収支差引			△ 86,686	③ △ 114,195	△ 27,509
資本的収支	収入	企業債	664,000	682,000	18,000
		国庫補助金	1,000	0	△ 1,000
		他会計補助金	0	0	0
		負担金	929,000	1,469,000	540,000
		計	1,594,000	2,151,000	557,000
	支出	建設改良費	1,619,249	2,161,000	541,751
		企業債償還金	215,000	237,000	22,000
		他会計借入金償還金	0	76,000	76,000
		予備費	10,000	10,000	0
		計	1,844,249	2,484,000	639,751
資本的収支差引			△ 250,249	△ 333,000	△ 82,751
当年度分損益勘定留保資金等			213,000	453,000	240,000
過年度分内部留保資金			△ 117,300	△ 241,235	△ 123,935
（参考）一般会計からの長期借入金残高			615,000	539,000	△ 76,000
合計			373,765	④ 303,570	△ 70,195

※施設使用料、維持管理費及び技術継承等負担金は、相殺している。
※５年度予算は現計予算（４年決算置換・繰越・補正を含む）である。

長期借入金残高を除いた資金状況	④303,570 － 539,000 ＝	⑤△235,430

3　主 要 事 業

（軌道整備事業会計）

路　面　電　車

＜車両基地改良事業等＞

●電車事業所改良建築工事：R6予算1,516百万円（～R8※総事業費43億円）

【改修内容】
・車庫の拡張、耐震化のため、車庫・工場棟の建て替えを行うとともに、事務所棟も合築し一体整備する。
　令和８年度の完成を予定している。

【令和６年度の主な実施内容】
・事務所棟、工場棟南側の新築







＜軌道更新・街路拡幅関連事業等＞

●街路拡幅に伴う電気設備工事：R6予算74百万円

●街路拡幅に伴う軌道改良：R6予算28百万円

・街路拡幅工事に伴い、架線柱、架線及び軌道の移設、改良を行う。

※イメージ図



●情報利活用システム機器更新：R6予算33百万円

・サーバー類の老朽化更新を行う。

※イメージ図



＜車両関係事業＞

●低床車両製造：R6予算324百万円

【導入計画】
・令和６～10年度：５両
　（各年度１両ずつ導入予定）
・令和10年度には、全36両のうち
　18両が低床車両となる予定



※イメージ図



・バリアフリー対応の低床車両を導入する（14両/36両）。令和６年度以降は、従来の低床車両と比較して乗車スペースを広げ、輸送力を増強（シリウス60人→75人）させた新型低床車両を導入する。

●除雪車両用部品購入：R6予算53百万円

・ブルーム（回転部）関連の部品を購入する。



除雪車両（雪20形）

●既存車両改良：R6予算23百万円

・主電動機及び駆動装置の老朽化更新を行う。

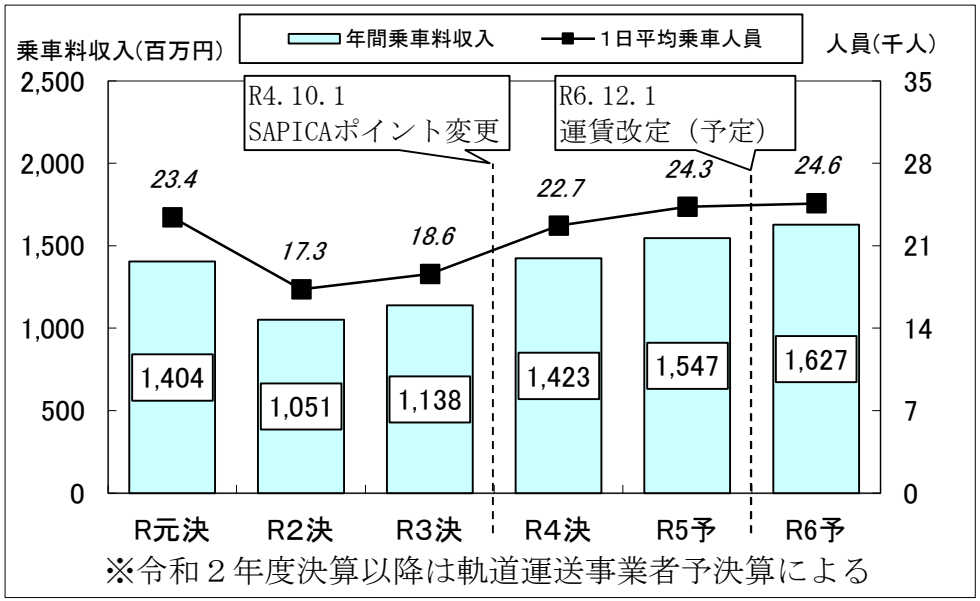


既存車両（8500形）

4　これまでの傾向

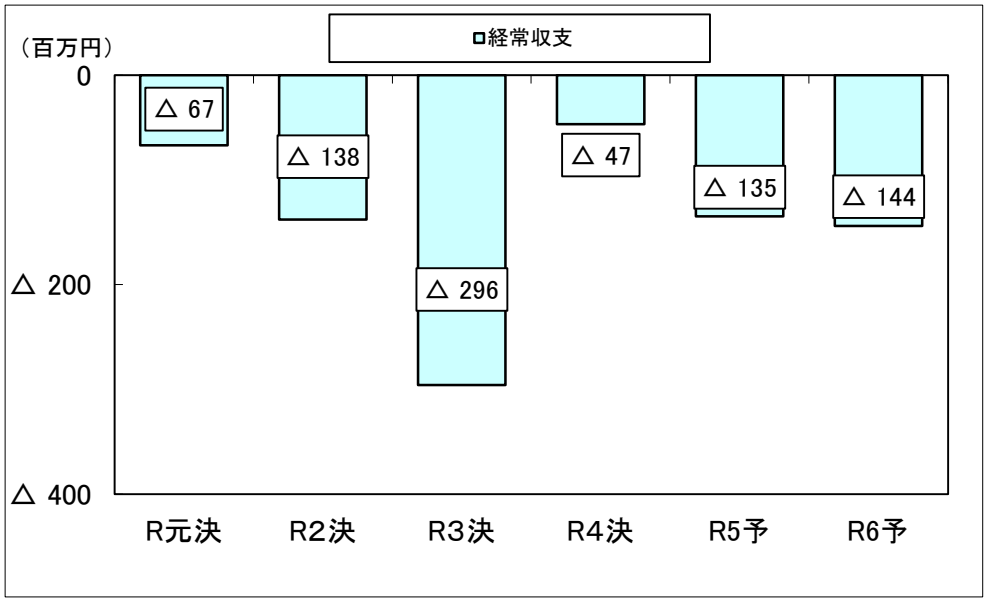
路　面　電　車

(1)（参考）１日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)

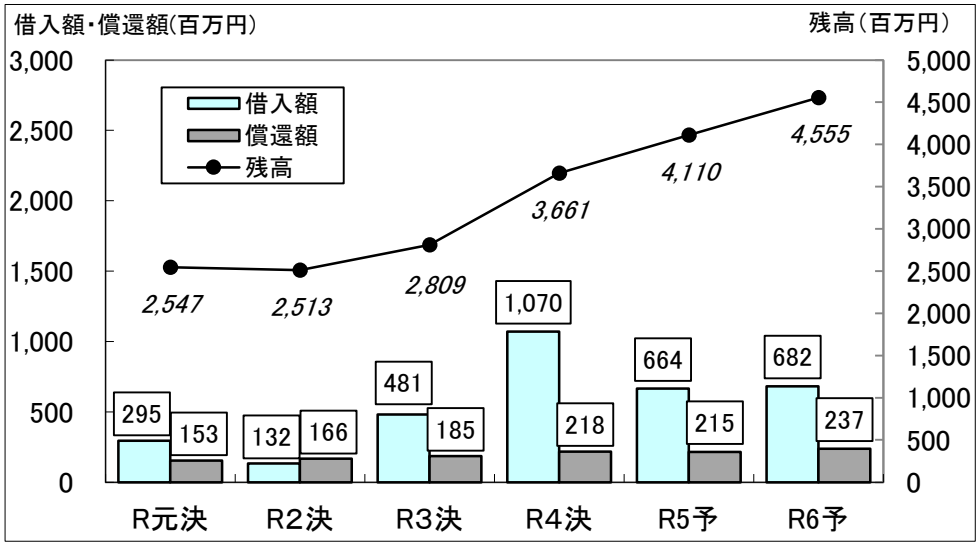


※令和２年度決算以降は軌道運送事業者予決算による

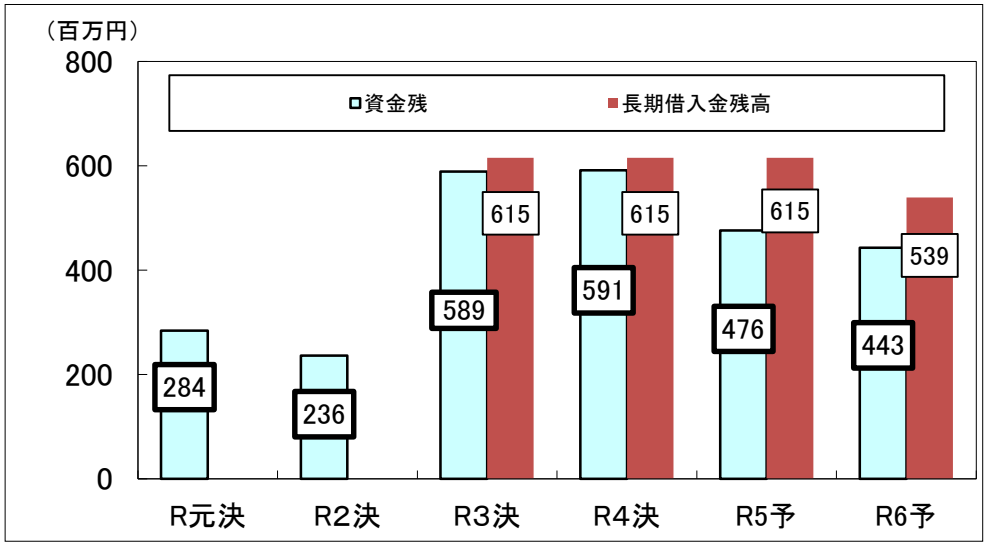
(2)　経常収支（税抜）



(3)　企業債（借入額・償還額・残高）



(4)　資金の状況



1　予算総括表（税込）

地　下　鉄

（高速電車事業会計）

（単位：千円）

区分			項目	収入 6年度予算(A)	収入 5年度予算(B)	収入 差引増減(A)-(B)	支出 項目	支出 6年度予算(C)	支出 5年度予算(D)	支出 差引増減(C)-(D)	収支差引 6年度予算(A)-(C)=(E)	収支差引 5年度予算(B)-(D)=(F)	収支差引 差引増減(E)-(F)
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	経常収支	営業収益	45,270,000	44,936,000	334,000	営業費用	40,059,000	38,551,853	1,507,147	5,211,000	6,384,147	△ 1,173,147
			乗車料収入	42,354,000	42,085,000	269,000	人件費	4,800,000	4,747,000	53,000			
			広告料収入	1,155,000	1,096,000	59,000	経費	19,907,000	19,032,853	874,147			
			その他	1,761,000	1,755,000	6,000	減価償却費	15,352,000	14,772,000	580,000			
			営業外収益	5,570,000	6,872,000	△ 1,302,000	営業外費用	3,623,000	4,266,000	△ 643,000	1,947,000	2,606,000	△ 659,000
							予備費	40,000	40,000	0	△ 40,000	△ 40,000	0
			小計	50,840,000	51,808,000	△ 968,000	小計	43,722,000	42,857,853	864,147	7,118,000	8,950,147	△ 1,832,147
		特別利益		0	0	0	特別損失	18,000	279,000	△ 261,000	△ 18,000	△ 279,000	261,000
		計		① **50,840,000**	51,808,000	△ 968,000	計	② **43,740,000**	43,136,853	603,147	③ **7,100,000**	8,671,147	△ 1,571,147
	資本的収入及び支出	企業債		12,942,000	12,741,000	201,000	建設改良費	19,189,000	16,668,470	2,520,530	収支差引（税抜）＝当年度純利益		
		うち特別減収対策企業債		0	0	0	企業債償還金	16,943,000	18,626,000	△ 1,683,000	④ **5,688,000**	**7,605,147**	**△ 1,917,147**
		出資金		2,515,000	2,029,000	486,000	予備費	20,000	20,000	0			
		国庫補助金		1,589,396	847,944	741,452							
		他会計補助金		2,086,446	1,308,556	777,890							
		負担金		292,158	0	292,158							
		投資		0	2,500	△ 2,500							
		計		⑤ **19,425,000**	16,929,000	2,496,000	計	⑥ **36,152,000**	35,314,470	837,530	⑦ **△ 16,727,000**	△ 18,385,470	1,658,470
	当年度分損益勘定留保資金等			11,677,131	11,956,000	△ 278,869					11,677,131	11,956,000	△ 278,869
	合計			**81,942,131**	80,693,000	1,249,131	合計	**79,892,000**	78,451,323	1,440,677	**2,050,131**	2,241,677	△ 191,546
過年度分内部留保資金				**3,266,236**	1,024,559	2,241,677					3,266,236	1,024,559	2,241,677
総計				**85,208,367**	81,717,559	3,490,808	総計	**79,892,000**	78,451,323	1,440,677	⑧ **5,316,367**	3,266,236	2,050,131

※　５年度予算は現計予算（４決算置換・繰越・補正を含む）である。
※　５年度予算の投資は、（一財）札幌市交通事業振興公社への出資金のうち、出資比率の25%超過相当分の返還を受けるもの（３～５年度各2,500千円）である。
※　６年度予算の当年度損益勘定留保資金等は、減価償却費15,352,000千円、固定資産除却費277,000千円、長期前受金戻入△3,613,000千円、引当金計上額及び取崩額等の資金調整額△338,869千円を加えたものである。
※　６年度予算の地方財政法上の資金不足額は、総計5,316,367千円から特別減収対策企業債残高17,930,000千円を差し引いた額12,613,633千円である。

2　主 要 事 業

（高速電車事業会計）

＜駅舎施設設備の改修＞

●南北線さっぽろ駅改良事業：R6予算3,998百万円（～R10※総事業費110億円）



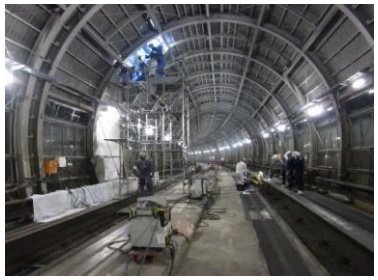
※イメージ図

・現ホームを麻生方面専用、新ホームを真駒内方面専用とする。ホームにはエスカレーターを新設のうえ、新ホームには改札口を設置し、北４西３地区再開発建物と接続する。

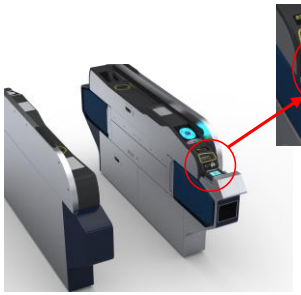
●南車両基地改築ほか工事（耐震改修等）：R6予算1,677百万円
（～R15※総事業費321億円）



●南北線シェルター耐震改修工事：R6予算1,543百万円
（～R20※総事業費317億円）



●クレジットカードによるタッチ決済対応に係る改修：R6予算292百万円

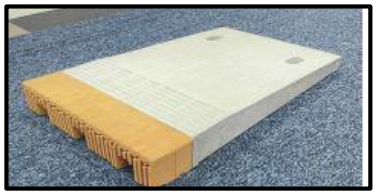


※イメージ図

・国内外旅行者の地下鉄の利用促進や利便性向上のために、クレジットカードによるタッチ決済の導入に向けた実証実験を行う。令和６年度内に機器改修等を行い、令和７年度春に運用開始予定。
・全46駅各改札口の１通路に対応リーダーを設置予定（全95台）。

＜バリアフリー化＞

●段差隙間縮小に向けた駅ホーム改良工事：R6予算84百万円



・車いす利用者やベビーカー等の円滑な移動を可能にするため、単独で列車を乗降しやすくするスロープタイル一体型くし状ゴムの設置により、車両とプラットホームの段差と隙間の縮小に取り組む。

【改修計画】
令和６年度：４駅　令和７年度:24駅　令和８年度:21駅
（令和８年度で全駅完了予定）

＜多言語対応＞

●案内表示設備更新工事：R6予算535百万円

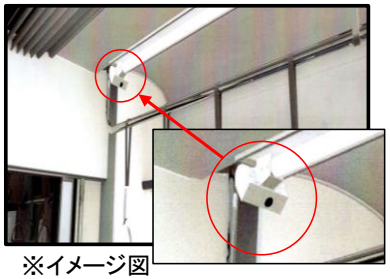


・札幌市を訪れる多くの外国人旅行客に対応するため、駅ホーム及びコンコースの案内表示設備を、ＬＣＤ（液晶）化・多言語表記に改修し、利便性の向上を図る。

【更新計画】
令和４年度：２駅　令和５年度：11駅
令和６年度：12駅　令和７年度：10駅
（令和７年度で南北線・東西線全駅完了予定）
※東豊線全駅は平成27年度までにＬＥＤ化・２言語表記対応済

＜車両・工場機器設備の改修等＞

●東豊線9000形車両車内防犯カメラ設置：R6予算20百万円



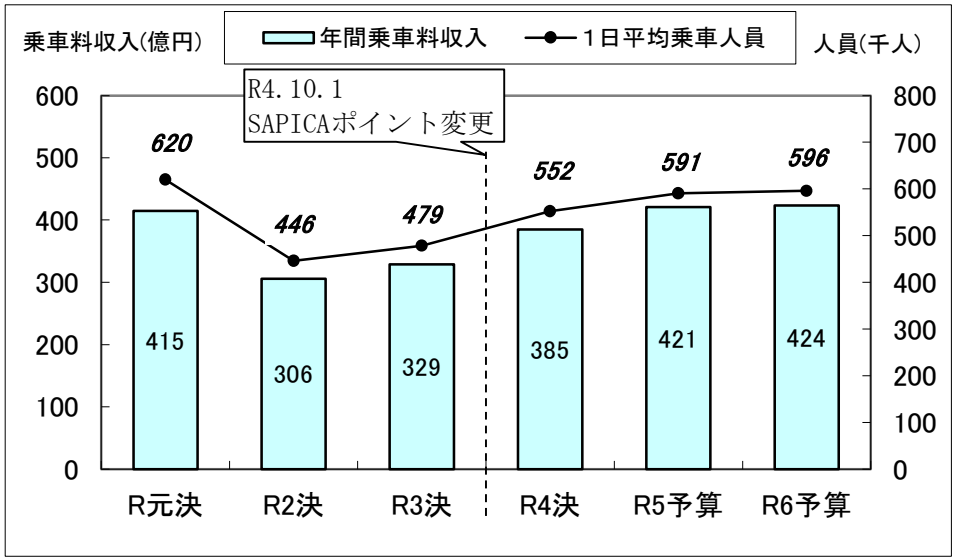
※イメージ図

・車両内において、お客さまに危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止するため、車内防犯カメラを仕様検討のうえ、順次導入する。

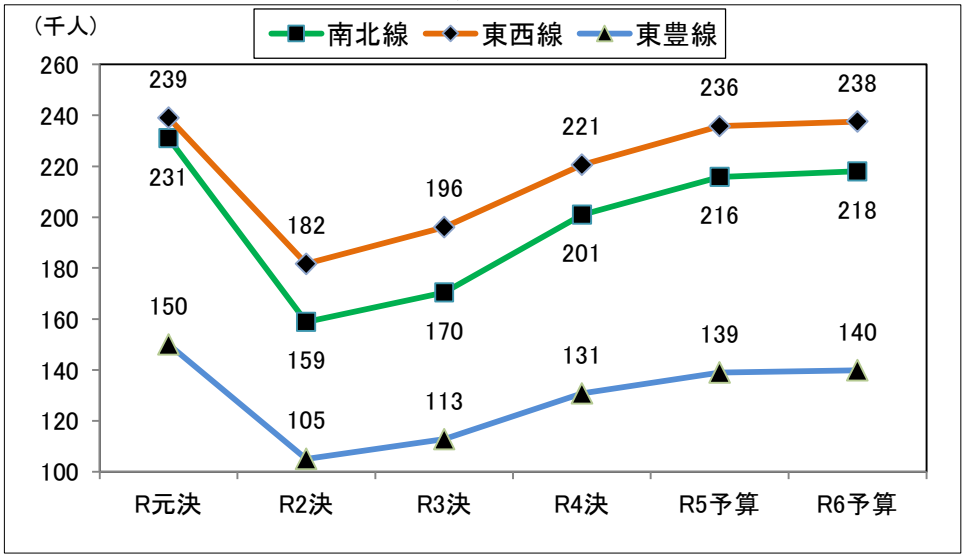
【設置計画】
東豊線：令和６～10年度
東西線：令和７～９年度
南北線：令和12～16年度（車両更新に合わせて導入）

3　これまでの傾向

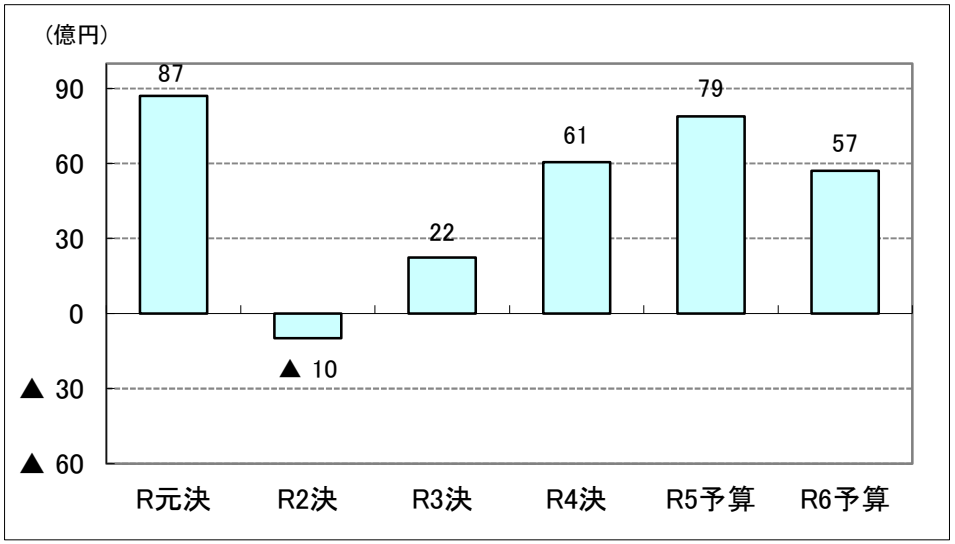
(1)　１日平均乗車人員及び年間乗車料収入(税込)



(2)　路線別の１日平均乗車人員の推移



(3)　経常収支（税抜）



(4)　企業債（借入額・償還額・残高）

